

スマートデバイス対応のペーパーレス会議システム「ConforMeeting」

横山 賢介・齊藤 裕之

要 旨

近年のワークスタイルの変化により、画一的なオフィスの中で決められた時間に働くだけでなく、労働者の都合の良い時間に、都合の良い場所から働けるような環境が求められています。「ConforMeeting」は、この課題を解決する製品です。スマートデバイスに対応することで、ConforMeetingの活用シーンが広がり、社外での積極利用やセミナーなどで活用できるようになりました。本稿では、新しい活用シーンを含めて、ConforMeetingについて紹介します。

キーワード

●会議ソリューション ●ペーパーレス ●遠隔会議 ●役員会議 ●テレビ会議
●音声会議 ●効率化 ●セキュリティ ●スマートデバイス ●Android ●iPad

1. はじめに

NEC情報システムズでは、資料共有/会議システムとして、利用目的に合わせた2つの製品「ConforMeeting/c」と「ConforMeeting/e」の開発・販売を行っています。

従来、これらのシステムは、会議の効率化や、コスト削減を目的とし、Windows PC向けのシステムとして提供してきました。

しかし、昨今のスマートデバイスの普及に合わせて、それらが持つ機動性、直感的な操作性、見栄えの良さなどの特徴を生かした、新しい使い方が生まれてきています。

本稿では、まず第2章で、近年のワークスタイルの変化と情報共有/会議システムに対するニーズの変化について説明します。次に第3章で、情報共有システムとしてのConforMeetingの概要と、従来の利用方法について説明します。最後に第4章で、スマートデバイス対応によるConforMeetingの新しい活用方法について説明します。

2. ワークスタイルの変化と資料共有/会議システムに対するニーズの変化

近年のワークスタイルや労働環境の多様化により、従来はオフィスの中で、決められた時間に作業できれば十分でしたが、現在は、社内だけでなく社外や出張先でも、また各自が

自分の都合の良い時間に作業できる環境が求められています。業務のスピード化とグローバル化に対応するために、「いつでも」「どこでも」「だれとでも」、他のメンバーと繋がって、情報を共有できることが望まれています。

そのような環境をサポートするためのツールの1つに、資料共有/会議システムがあります。

マーケティング会社の調査によると、国内の資料共有/会議システム（テレビ会議/Web会議/音声会議）のマーケットは今後も拡大を続けると予想され、3年で倍増する勢いです。一方で、システムに対するニーズとしては、従来の移動コストの削減に加えて、教育/eラーニング/トレーニングでの活用や、BCP（Business Continuity Plan）対策などのニーズが増えてきています。

ConforMeetingは、上記のようなさまざまなニーズに応えることができる製品です。

3. ConforMeetingとは

3.1 ConforMeetingの特長

ConforMeetingは、情報共有と業務効率化を目的として開発された資料共有/会議システムであり、2007年の販売開始以来、60社を超える、さまざまな業種のお客様に利用いただい

スマートデバイス対応のペーパーレス会議システム「ConforMeeting」

ています。

ConforMeetingは、以下の特長を有しています。

(1) 紙のような操作感でペーパーレスを実現

- ・ スタイラスペンや指を使って、タッチパネルに対して操作することで、紙に書いているかのような操作感でペーパーレスを実現します。
- ・ 電子化された資料を共有する仕組みのため、会議前後の資料の印刷や修正、差し替えに掛かる人件費、印刷費用などを削減できます。

(2) ITを活用したコミュニケーション/コラボレーションの支援

- ・ 説明者が資料のページめくりや書き込みを行うと、他の参加者の画面も操作に同期し、同じ画面が即時に共有されます。
- ・ 資料中の強調したい部分をマーキングする機能により、ポイントを明確にして会話を行うことができます。会話の論点が明確になり、参加者同士の会話がスムーズに進みます。

(3) 情報漏えいさせない仕組みの提供

- ・ 資料は独自のファイル形式に変換され、サーバ上では暗号化して保存されるため、セキュリティの高い仕組みとなっています。
- ・ クライアントにはデータが残らないので、端末紛失の際の情報漏えいを防ぎます。紙のように、不注意などにより、誤って情報漏えいが起きる心配がありません。

ConforMeetingには、表 に示す2種類の製品があり、利用シーンに合わせて導入していただくことが可能です。

以下では、ConforMeeting/c及びConforMeeting/eについて、それぞれのシステムの目的と利用シーン/運用イメージを説明します。

3.2 ConforMeeting/cシステムの目的と利用シーン

まず、資料共有システムConforMeeting/cですが、本システムの目的は、事前準備なしに、いつでも、どこでも、思い立ったらワンクリックで会議を開始し、資料を共有できる環境を提供することです。

具体的には、以下のような利用シーンで活用することができます（図1）。

(1) 対面会議

ミーティングコーナーや会議室にタブレットPCを持ち寄り、会議を開始します。資料のコピー、印刷、配付やプロジェクターの準備が不要となり、ペーパーレス化を実現できます。また、会議を保存できるため、後日、会議を再開したときに、前回の手書きコメントなどを参照して議論を続けることができます。

(2) 遠隔地との資料確認

離れた場所にいる複数メンバー間で資料を確認する際には、ConforMeetingをTV会議や音声会議と併用します。共有している資料に対して、画面上でマーキングしたりお互いに書き込みを行うことで、遠隔地間でポイントを押さえた的確な議論が可能になります。また、スマートフォンで使用する場合には、ヘッドセットを使って、音声を聞きながら会議に参加することもできます。

表 ConforMeeting/cとConforMeeting/eの比較

	ConforMeeting/c	ConforMeeting/e
利用ユーザー	一般社員	役員/幹部や支店長などのキーパーソン
向いている会議形態	少人数でアドホックな会議	大人数の定例的な会議 役員会議など秘匿性の高い情報を扱う会議
	簡易的な打ち合わせやミーティング	
	不特定多数の参加するセミナー	
参加方法	サーバへのログイン後、参加したい会議を指定し、主催者の承認を得て会議に参加	サーバへのログイン後、予約されている会議に自動的に参加
利用イメージ	事前準備なしに会議を開始。会議の開催日時や参加者は固定されていない。会議資料も、各会議クライアントから、その場で登録が可能	事務局が事前に会議の開催日時、参加者を予約し、資料を登録する。会議は定期的に繰り返し行われる
資料保存	会議終了時に、参加者ごとに、自分が保存したい資料を指定する	資料はシステム内キャビネットに手書きデータ付きで自動保存される
	保存先のURLがメールで通知されるので、IDとパスワードを入力してファイルをダウンロードする	システムからファイルとして取り出すことが必要な場合には、事務局がツールを使用して、会議の参加者に資料を配付する
その他	Windows、Androidをサポート	Windows、iPadをサポート

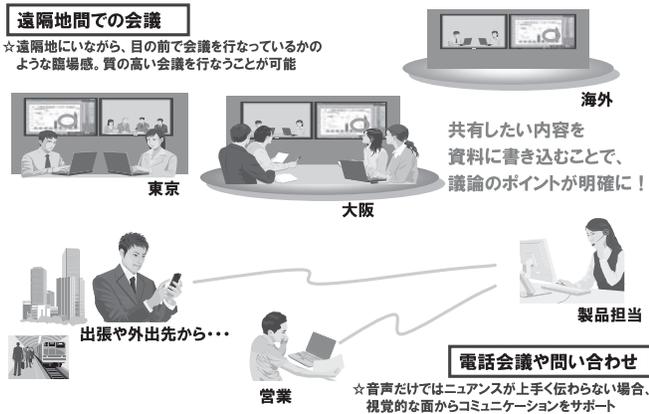


図1 ConforMeeting/cの利用イメージ

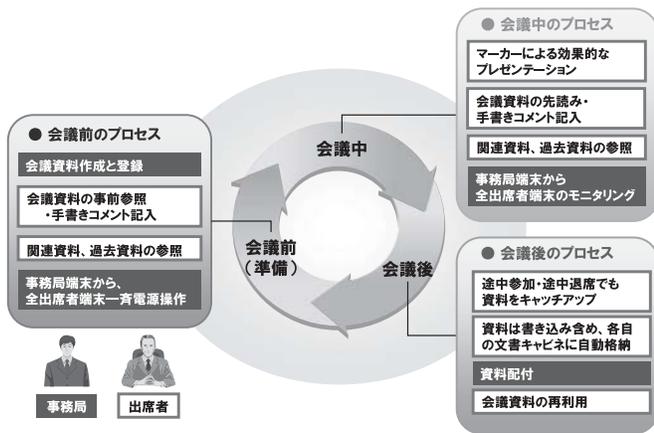


図2 ConforMeeting/eによる会議運用イメージ

3.3 ConforMeeting/eの目的と運用イメージ

次に、役員会議システムConforMeeting/eですが、本システムの目的は、「事務局」が、会議の準備や進行を支援する必要があるような定例会議の実施を効率化し、利用者が議論に集中できる環境を提供することです。このために、事務局用のツールが用意されています。これを利用することで、事務局担当者の作業である会議の事前準備、会議のモニタリングや進行の補助、会議終了後の資料の配付処理を効率化することができます。

ConforMeeting/eを使用した会議の運用イメージを図2に示します。

4. スマートデバイス対応によるConforMeetingの新しい活用方法

ConforMeetingは、2011年にConforMeeting/cがAndroid端末に、2012年にConforMeeting/eがiPadにそれぞれ対応しました。これらのスマートデバイス対応により、以下のような使い方を促進できるようになりました。

- (1) 社外や出張先に端末を手軽に持ち出して使う。
- (2) 優しいUI・直感的な操作性を活用することで、特別な訓練なしにシステムを利用し、資料共有や会議を行う。
- (3) 隙間時間を有効に活用して作業を行う。

以下では、上記の特長を生かした、具体的な活用例を紹介します。

【活用例1 (ConforMeeting/c)】

情報のセキュアな持ち出し/持ち帰り手段としての利用

ConforMeetingを利用することで、社外に情報をセキュアに持ち出し、社外からも情報をセキュアに持ち帰ることができます(図3)。

具体的には、まず、社内に保管されている資料を外出先から参照できるようにするために、社内のWindows PCで会議を作成して、資料の登録と会議の保存を行います。社外には、Android端末を持ち出し、DMZ (DeMilitarized Zone) やVPN (Virtual Private Network) を経由して社内に接続し、保存した会議に出席します。会議に出席すると、あらかじめ登録した資料にアクセスできます。紙媒体を持ち出す必要がなく、資料を紛失する心配がないため、情報をセキュアに持ち



図3 情報のセキュアな持ち出し/持ち帰り手段としての利用

出すことが可能になります。また、Android端末から、写真を撮影して会議に保存することや、会議資料にメモ書きを行うことにより、社外からセキュアに情報を持ち帰る手段としても利用できます。

【活用例2 (ConforMeeting/c)】

研修やセミナーでの資料共有/プレゼンツールとしての利用

誰でもすぐに使いこなせるUIや、直感的な操作性を生かし、研修やセミナーでの資料共有/プレゼンツールとして利用できます。講師はマーカーを使って説明箇所を示します。参加者は資料に個人メモを書き込むことができます。また、PowerPoint、Excel、Word、PDFなど、ファイル形式が異なる複数の資料を、アプリケーションを切り替えることなく、同じ操作で扱うことができるため、初めてでも戸惑うことなく、利用できます（図4）。

【活用例3 (ConforMeeting/e)】

隙間時間を活用して思い立ったときにすぐ情報閲覧

PCは情報作成が主目的で利用されるのに対し、経営者の活動は、情報閲覧と意思決定が主目的です。情報閲覧に適しているというスマートデバイスの特長を生かし、端末さえ手元があれば、隙間時間を活用して、また思い立ったときにタイムリーに、経営会議など重要な会議の資料にアクセスできます。自宅から閲覧する場合でも簡単に利用でき、しかも紙媒体を持ち出す必要がないため、安全です（図5）。

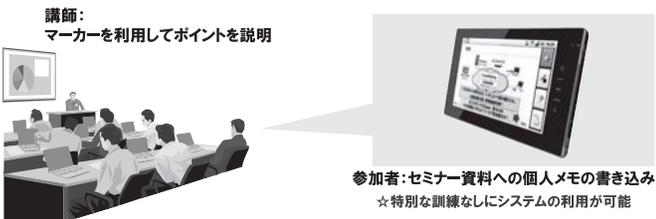


図4 研修やセミナーでの利用

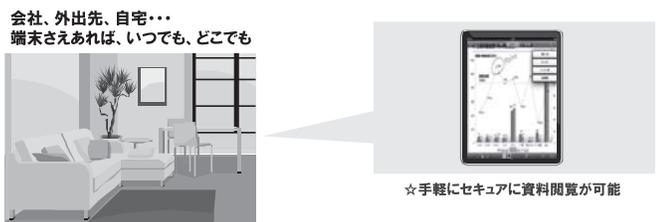


図5 隙間時間を活用して手軽にセキュアに情報閲覧

5. まとめ

スマートデバイスの登場により、「いつでも」「どこでも」、さまざまな情報に手軽にアクセスできる環境が整いました。このデバイスを利用することで、ConforMeetingも、従来にも増して場所や時間を限定せず、利用者間のリアルタイムのコミュニケーションと情報共有を推進するツールとして、利用いただけるようになりました。

今後は、Windows 8やタッチパネルを使った手書き文字認識にも対応していくことで、更に魅力ある製品として提供していく予定です。

*Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。

*iPadはApple Inc.の商標です。

*Excel、PowerPoint、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。

執筆者プロフィール

横山 賢介
NEC情報システムズ
ソリューション営業本部
ConforMeetingグループ
マネージャー

齊藤 裕之
NEC情報システムズ
ソリューション営業本部
ConforMeetingグループ
グループマネージャー
兼ソリューション営業本部
パッケージ営業部
シニアエキスパート

関連URL

ペーパーレス資料共有システム:
<http://www.nec.co.jp/soft/conformeeeting/c/>
ペーパーレス役員会議システム:
<http://www.nec.co.jp/soft/conformeeeting/e/>

NEC 技報のご案内

NEC 技報の論文をご覧くださいありがとうございます。
ご興味がありましたら、関連する他の論文もご覧ください。

NEC 技報 WEB サイトはこちら

NEC 技報 (日本語)

NEC Technical Journal (英語)

Vol.65 No.3 スマートデバイス活用ソリューション特集

スマートデバイス活用ソリューション特集によせて
スマートデバイス活用に向けた NEC グループの取り組み

◇ 特集論文

サービス基盤

OS やキャリア不問のスマートデバイスの管理・セキュリティソリューション
スマートデバイスの活用を支えるソリューションと導入事例
スマートデバイスに最適な認証ソリューション
スマートデバイスの利活用に貢献する「Smart Mobile Cloud」
高品質なサービスの構築を支える「BIGLOBE クラウドホスティング」
スマートデバイス向けコンテンツ配信サービス「Contents Director」
BYOD に最適なスマートデバイス活用基盤「UNIVERGE モバイルポータルサービス」
スマートデバイスの利用を促進するリモートデスクトップ・ソフトウェア
スマートデバイス対応アプリケーション開発を効率化する業務システム構築基盤「SystemDirector Enterprise」
BIGLOBE ホスティングを活用したスマートフォン向けコンテンツ配信基盤サービス

スマートデバイス

Android 搭載タブレット「LifeTouch」シリーズの概要
Windows 8 搭載 大画面タブレット PC「VersaPro タイプ VZ」
Android 搭載タブレット型パネルコンピュータの開発

ソリューション

スマートデバイス対応のペーパーレス会議システム「ConforMeeting」
スマートフォンを活用した BusinessView 保守業務ソリューション
UNIVERGE 遠隔相談ソリューションの見守りサービスへの適用
画像認識サービス「GAZIRU」の紹介
インスタア・コンシェルジュ～究極の接客ソリューション～
スマートデバイスを活用した業務システム向けテンプレートの開発
マルチデバイス対応のビデオコミュニケーションクラウドの紹介

先端技術研究

ユーザーフレンドリーなセキュリティ強化 BYOD ソリューションに向けて
OpenFlow を活用した業務用スマートデバイスのセキュアな通信の実現
映像投影とジェスチャー入力によるインタラクション技術
雑音下でも頑健に動作する音声 UI 技術とその応用

◇ 普通論文

大規模災害における移動通信サービスの輻輳解決に向けた取り組み

◇ NEC Information

C&C ユーザーフォーラム & iEXPO2012

人と地球にやさしい情報社会へ～あらゆる情報を社会の力に～
NEC 講演
展示会報告

NEWS

2012 年度 C&C 賞表彰式典開催



Vol.65 No.3
(2013年2月)

特集TOP